

# 社会教育指導員の部屋

2021.3月

生涯学習課 社会教育指導員 浅沼 芳子

## 心の世界を拓けよう。

さて、突然ですがここでクイズです！

①猫 ②書 ③馬 ④星・宇宙 ⑤子ども

これらに共通するものは何でしょうか？

答えは、「佐久市の図書館」です。

何のこと??と思われましたか。佐久市内には図書館が5館あります。クイズは、それぞれの図書館の特色を示したもののなんです。それでは解説しましょう。

まず、①猫。浅科図書館です。交流文化館浅科に併設の、木の香りがするような素敵な建物。スリッパに履き替えて入ります。十数年前に、市民の方が収集されてきた猫に関する本の寄贈を受け、猫コーナーを作り、さらに蔵書も増やしてきました。小説やら写真集やらエッセイやら、漫画本に至るまで、猫に関するものを網羅しています。猫好きなら一度は訪ねてみるべし(=^・^=)！



玄関前の桜ももうじきほころび始めるでしょう。実は館内にもお花見スポットがあって、そこからは桜越しの浅間山も楽しめます🌸。



②と③は、「現代書道の父 比田井天来 生誕の地」「望月の駒」といえばもうお分かりですね。望月支所の2階にある望月図書館です。棚いっぱい書(書道)の本、馬の本が並んでいます。特に書の本は個人ではとても所有できないような大辞典や名品集が勢ぞろいです。馬の本のコーナーも充実していて「馬の医学書」なんていう本までありました🐎。

ここ望月図書館で特筆すべきことのもうひとつは、図書館の場所。隣には天来記念館があり、天来記念館から階段を下れば望月歴史民俗資料館があるのです。というわけで「望月3館巡りツアー」はいかがでしょうか。図書館で書の本と馬の本にふれ、天来記念館で比田井天来の書の世界に浸り、望月歴史民俗資料館を訪ねて「望月の牧」や中山道の歴史を学び望月地区と馬の古来からの関係に思いをはせる。さらに足を延ばして望月馬事公苑で本物の馬に触れるのも良いかも！？

④星・宇宙は、言わずと知れた「星のまち うすだ」の臼田図書館です。ここにある星や宇宙に関する本は、やさしいお話の本から専門書まで、内容も多岐にわたっています。また、うすだスタードームとコラボして夏休み中には星と宇宙の写真展も開かれています。臼田図書館はコスモ



ホールの一隅にあるのですが、よく考えたら、コスモ=宇宙ではないですか。臼田図書館に行ったら、もうそれだけで宇宙旅行ってことでは…！？🚀

コスモホールは現在令和元年東日本台風の被害による復旧工事のため休館中ですが、図書館は開館していますのでぜひ行ってみてください。すぐ近くの稲荷山公園の「コスモタワー」「宇宙衛星スライダー（すべり台）」もおすすめですよ！

中込駅にほど近い施設「サングリモ中込」の2階に、図書館があるのをご存じですか。このサングリモ中込図書館の蔵書の特徴が、⑤の「子ども」というキーワードであらわされます。サングリモ中込では、図書館の隣の部屋で0歳から3歳ぐらいの子どもと保護者を対象にした交流の場「つどいの広場」が週に何回か開かれています。その帰りに図書館に寄る方が多いそうで、幼児向けの絵本などがとても充



実していて、のびのびと絵本を見たり本を読める居心地のいいスペースも広々ととってあります。また、青少年向けの内容の本もたくさん揃っています。

小ぢんまりとしてますが、温かい雰囲気にも包まれたサングリモ中込図書館のご利用いかがですか。

最後に、中央図書館をご紹介します。あれれ、クイズに無いですね。、、、特徴がない、、、わけではないですよ！

駒場公園内にある中央図書館。重厚感のある建物にシックな本棚、本棚の上から下まである蔵書から匂い立つ圧倒的な情報量、どこからともなく図書館の精が現れそうな…。でもそれが特徴ではありません。

中央図書館の真骨頂は「つなぐ」という役割。

市内の図書館どおしを「つなぐ」。利用者と本を「つなぐ」。本を介してさまざまな事柄を「つなぐ」。こっちの情報とあっちの情報を「つなぐ」。人と人とを「つなぐ」。市民活動を「つなぐ」。つなぎ、結びつけることによって、点は線になり、面になり、市内に、世界に張り巡らされていく。いわば中央図書館は市民活動のネットワークのハブにならんとしているのです。

借りるもよし、読むもよし、調べるもよし、雰囲気を楽しむのもよし。

あなたも図書館に行ってみませんか？

